

めでいかすとり
Médicastre



「くるねこ」

一般社団法人鶴岡地区医師会 第102回定時総会

日時：平成29年5月31日(水) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

堀内議長：定刻となりましたので、一般社団法人鶴岡地区医師会第102回定時総会を開催します。最初に資格確認をお願いいたします。

御橋事務局長：資格確認についてご報告いたします。会員総数191名、19時現在の出席者数26名、委任状の提出者95名、計121名となり定款第19条総会の成立に必要な過半数の出席を満たしておりますので、本総会は成立いたします。

堀内議長：それでは会長挨拶を土田会長よろしくをお願いいたします。

土田会長：はじめに、ご多忙の中、一般社団法人鶴岡地区医師会第102回定時総会にご出席を賜りました会員の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

会長就任一年目の年、医師会を取り巻く状況は大きく様変わりし、これまで堅調を維持してきた諸事業の一部に陰りが見えています。その要因となっているのは、医師会の事業に不利に働く制度改正、並びに特養を始めとする介護施設のベッド数、及び訪問看護ステーションの急増などの外部要因が主体であり、一朝一夕に対応することが困難なものです。組織内部の体制を見直すだけでなく、外部との交渉や折衝、時には競争がより必要になっていることを強く認識しているところです。

平成29年度以降も難しい舵取りを要することを覚悟するとともに、中長期的視野に立った介護の将来像を見据え、医師会の運営、経営に尽力することをこの場でお誓いします。

本日の総会では、平成28年度の会務報告、公益目的支出計画実施報告、平成29年度事業計画並びに正味財産増減予算報告に引き続き、平成28年度決算及び会費賦課関連の議案3件についてご審議いただきます。慎重審議の上、ご承認賜りますようお願いして、挨拶といたします。

堀内議長：ありがとうございました。続きまして議事録署名人の選出に移らせていただき

ます。

どなたか立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。どなたもいらっしゃらないようですので、こちらから指名させていただきます。鈴木伸男先生、黒澤明充先生の両先生にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。それでは次第に沿って進めてまいります。円滑なる進行にご協力くださいますようお願いいたします。では平成28年度会務報告について総務担当の小野副会長をお願いいたします。

小野副会長：総務担当の小野です。どうぞよろしく申し上げます。僭越ですが本日は座ってお話しをさせていただきます。それでは、平成28年度の会務報告をさせていただきます。お手元に配布されております黄色の表紙の冊子をご覧ください。まず1ページ目ですが、平成28年度の新入会員はA会員2名、B会員4名、C会員4名、退会はB会員等2名でございました。以上、平成29年3月31日現在の会員数は191名でございます。続いて3ページをご覧ください。会議関係では平成28年度4月臨時総会にて役員改選が行われております。5月に第101回定時総会が開かれ、平成27年度決算などについてご審議いただきました。平成28年度は12回の定例理事会と5回の臨時理事会を開催しております。内容につきましては資料をご覧ください。引き続き14ページ以降をご覧ください。14ページでは総務関係について記載しております。内容についてはご覧いただきたいと思いますが、新規のもの、特筆すべきものについて取り上げさせていただきます。会費賦課検討委員会を2月に行い、会費区分、規程の変更についてご審議いただきました。また同月警察・検案医委員会が開かれました。鶴岡管内の検案業務の状況と協力医の体制について検討されました。マネジメント研修会報告会は医師会幹部職員の育成を目的に一昨年度から行っております。昨年度はI期生のフォローアップと新規にII期生の

研修を行いました。続きまして19ページをご覧ください。健康管理センターでは学生徒へリコバクターピロリ検査実施検討会を行っております。これにつきましては鶴岡市の事業として中学2年生を対象に、健診と除菌治療について検討され、今年度より実施されております。最後に、20ページの湯田川温泉リハビリテーション病院についてですが、ここでは新たに検討会が行われました。病院での医療機器、設備の修繕・購入に関する鶴岡市との負担割合の変更などについて協議いただきました。以上です。

堀内議長：ありがとうございました。只今の報告にご質問はありますでしょうか。では次に平成28年度公益目的支出計画実施報告書について、小野副会長よろしくお願ひします。

小野副会長より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書について、阿部周市監事お願ひいたします。

阿部監事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。只今の説明にご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では、続きまして平成29年度事業計画、正味財産増減予算書について、小野副会長お願ひします。

小野副会長：引き続きご報告させていただきます。ページ色の冊子をご覧ください。平成29年度事業計画について、ご報告いたします。1～3ページをご覧ください。平成29年度鶴岡地区医師会事業計画の内容につきましては、今年度はほぼ前年度と同じ計画でございます。現状に合わせ、軽微な項目や字句の追加・訂正を行っております。5. 介護老人保健施設みずばしょうの事業では、昨年度ユニットケア体制に移行いたしました。今年度は、その体制で年間通しての運用となります。引き続き、健全・効率的な施設運営と質の高いサービスの提供に、より一層努めたいと思っております。10. 医師会事業の運営管理（2）医療・介護職員を確保するための活動強化について、資格職員は不足している状況が続いております。昨年度は学校訪問や各種説明会への参加、奨学金制度、さらに紹介会社の活用などを行いましたが、十分な職員確保には至っておりません。引き続き活動を

継続したいと考えております。以上です。引き続きまして、平成29年度鶴岡地区医師会収支予算についてご報告いたします。同じ冊子の15ページ以降に各会計の重点項目もしくは事業計画と収支予算・内訳明細がございます。各事業の内容についてはご覧いただき、説明は省かせていただきます。5～14ページにあります各会計をまとめた正味財産増減予算書と内訳表について、説明させていただきます。9～14ページをご覧ください。内訳表の上段の実施事業等会計は公益事業のこと、その他会計は公益以外の事業、法人会計は総会・理事会など法人としての運用に関わる事業のことでございます。また、各会計の（ ）内の共通とありますのは収支予算書の一般会計の中で各事業会計に関わる経費と考えられる費用を割り振って加算しています。正味財産増減予算書について合計をスライドにいたしましたのでご覧ください。Ⅰ. 一般正味財産増減の部 1. 経常増減の部（1）経常収益④事業収益では前年度予算に比し、4,564万2千円減、⑤受取補助金等では424万2千円減、経常収益計は5,042万円減の31億5,343万6千円の予算です。（2）経常費用では①事業費 給与手当から福利厚生費まで、人件費関係で1,726万6千円の増、減価償却費が2,490万4千円の減、租税公課が1,560万7千円減、材料費が1,022万5千円減となっております。②管理費も合わせました経常費用計は1,811万2千円減となっております。以上より当期経常増減額は前年度に比し3,230万8千円減のマイナス3,457万3千円、当期一般正味財産増減額も同額となります。期首残高を加えた期末残高は6,303万4千円減の20億9,356万3千円となる予算です。Ⅱ. 指定正味財産増減の部 当期指定正味財産増減額は36万円減のマイナス901万5千円、期首残高を加えた期末残高は766万6千円減の1億8,169万1千円です。Ⅲ. 正味財産期末残高は7,070万円減の22億7,525万4千円となる予算です。以上です。

堀内議長：ありがとうございました。ご質問のある方はいらっしゃいますか。では報告について終了いたします。

続きまして6. の議案に入ります。議第1号平成28年度決算承認の件について、平

成28年度各会計の報告を担当理事よりお願いいたします。最初に一般会計、小野副会長よろしくお願ひします。質問などは後程一括してお受けしたいと思ひます。

小野副会長、本田理事、齋藤理事、佐久間理事、福原副会長、武田理事、上野理事から説明（略）

堀内議長：どうもありがとうございました。次に財務諸表について、小野副会長からお願いいたします。

小野副会長：お手元の資料、第102回定時総会議案書の2～5ページになります。ただいま各事業会計について説明をさせていただきましたが、決算書類につきましては、総会において貸借対照表および正味財産増減計算書について承認をいただくことが必要です。その書類についてご説明いたします。合計部分をスライドにお示ししておりますのでご覧ください。まず貸借対照表につきましては、平成29年3月31日現在のものがございます。Ⅰ. 資産の部 前年に比べ1. 流動資産合計は3,840万9千円の減、2. 固定資産合計は5,584万1千円減、資産合計は9,425万1千円減の40億5,512万6千円です。Ⅱ. 負債の部 1. 流動負債合計は5,081万2千円減、2. 固定負債合計が386万1千円増となり、以上負債合計は4,695万1千円減の17億8,358万3千円です。Ⅲ. 正味財産の部 合計は4,730万円減の22億7,154万3千円となり、負債および正味財産の合計は資産合計と同額です。平成28年度の正味財産増減計算書についてご説明いたします。先ほど説明した、正味財産の昨年度1年間の変化になります。Ⅰ. 一般正味財産増減の部、経常増減の部、及び経常外増減の部を合わせた、当期一般正味財産増減額は前年に比べ1,024万1千円減、期首残高を加えた期末残高は4,097万1千円減です。Ⅱ. 指定正味財産増減の部 当期の指定正味財産増減額は97万5千円増です。期首残高を加えた期末残高は632万8千円減です。以上、正味財産期末残高は4,730万円減の22億7,154万3千円となります。議案書の16ページ以下に、財務諸表に対する注記、附属明細書がございますので、ご覧ください。

堀内議長：ありがとうございました。それでは、監事の監査報告をお願いいたします。

阿部監事より説明（略）

堀内議長：どうもありがとうございました。これまでの会計の報告、財務諸表に対し、ご質問等いかがでしょうか。

齋藤壽一先生：准看についてお尋ねいたします。卒業生について進路はどうだったか、鶴岡地区に残った方は何名いるのか、内訳を教えてください。

本田理事：正確な数字は把握しておりませんので、担当に聞いてよろしいでしょうか。

宮崎課長：准看護学院より説明いたします。卒業生24名のうち、5名が進学しております。2名は秋田県と新潟県に就職、1名がその他として専門学校に進学しております。残りの16名に関しては、鶴岡地区医師会管内に就職しております。以上です。

堀内議長：他に質問はいかがでしょうか。

中目千之先生：おおよそで結構ですが、平成28年度に現金で貯蓄できた金額というのは、事業計画評価収支計算書・内訳明細84ページ、キャッシュフローの投資活動という部門のマイナス1億690万円という金額でよろしいでしょうか。また、現在の内部預金の金額についてお伺ひいたします。

小野副会長：ただいま手元に正確な数字がございません。ただ、今回ご報告しました中に、減価償却費を合計で1億6,083万円計上しておりますが、これは当然支出を伴わない額ですので、将来のために預金に回っております。正味財産で4,700万円ほど減っておりますが、退職給付などを合わせまして、預金の積立額は前年と比べて6,000万円ほど増えております。27年度末現在の積立額が、12億8,374万円ですので、昨年度一年間でそれが13億4,183万円に増えています。減価償却費と退職給付引当金も含まれております。以上預金は増えていますが、減価償却を考えますと正味財産は4,700万円減っていることとなります。

齋藤壽一先生：退職給付引当資産と減価償却引当資産は純資産にならないのではないのでしょうか。純資産となるのは、それ以降の項目の近代化設備資金引当資産、高額修繕費引当資産、病院経営安定基金引当資産、施設経営安定基金引当資産ではないですか。それから借入金を引いた額が純資産となるのだと思います。

中目千之先生：そういう質問をしたのは、今年

周りの競争相手が増えたということもありまして、収入が減ってきているからです。昔も収入の増減がありました。当時は現金、預金として1億円以上貯蓄できていれば堅い経営であると判断できると言われていました。ただ、内部預金が多いからといって安穩としていると、減収になるという例もありますので、経営の方法についても一つよろしく願いいたします。

堀内議長：他に質問はいかがでしょうか。それでは、議第1号平成28年度決算承認の件について、これを承認することに賛成の方の挙手を求めます。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数で平成28年度決算について承認されたものと認めます。

次に議第2号平成29年度会費賦課(案)承認の件について小野副会長より説明をお願いいたします。

小野副会長：議案書24～25ページをご覧ください。議第2号平成29年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)承認の件について提案させていただきます。平成29年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)について承認を求めます。内容につきましては、昨年度と同様の会費賦課(案)となっています。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

堀内議長：ありがとうございます。この件について、ご質問等いかがでしょうか。それでは、平成29年度会費賦課(案)の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数につき議第2号平成29年度会費賦課(案)は承認されたものと認めます。続きまして議第3号平成30年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)について小野副会長をお願いします。

小野副会長：同じく議案書26～27ページをご覧ください。議第3号平成30年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)承認の件について提案します。変更点につきましては、A1会員 年間医業収入2,500万円未満 月額13,200円、A2会員 年間医業収入2,500万円以上 月額19,300円。A1会員とA2会員以外はこれまでと変更はありません。A会員の会費について、均等割り、収入割

は同様とし、会員区分A3会員は無くし、A1会員以外を全てA2会員といたします。会費の額については、会費収入の総額は変更せず、A1会員は従来通り、A2・A3会員をすべてA2会員とし会費額を算出いたしました。さらに一定の周知期間を置き、改定後平成30年4月からの施行を考えております。以上についてご審議いただきたく、提案させていただきます。

堀内議長：ありがとうございます。この件について、ご質問等いかがでしょうか。それでは平成30年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数につき議第3号平成30年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)は承認されたものと認めます。続きまして、議第4号平成30年4月改正会費賦課徴収規程(案)について小野副会長をお願いします。

小野副会長：同じく議案書28・29ページをご覧ください。提案理由を申し上げます。高齢のため会費を減免することについて、従来鶴岡地区医師会では満77歳以上の会員とされてきましたが、山形県医師会におきましては満83歳以上としているため、同じ年齢に変更をさせていただきたいと考えております。ただし、平成30年3月までにすでに満77歳以上で会費減免になっている方は対象とせず、従来通り減免を続けます。平成30年4月より施行し、それ以降は満83歳以上になった方を会費減免の対象にするという規定の変更をご審議いただきたく、提案させていただきます。以上です。

堀内議長：ありがとうございます。この件について、ご質問等いかがでしょうか。それでは、平成30年4月改正会費賦課徴収規程(案)の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数につき議第4号平成30年4月改正会費賦課徴収規程(案)は承認されたものと認めます。他に協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。それではこれをもって、一般社団法人鶴岡地区医師会第102回定時総会を閉会します。どうもありがとうございました。

(午後8時00分 閉会)

鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：平成29年6月30日(金) 19:00~20:30
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

『「皮膚を診れば、何でも解る？」 —内臓疾患に伴う意外な皮膚徴候・dermadrome—』

獨協医科大学皮膚科
准教授 濱崎 洋一郎 先生

種々の内臓疾患に伴い、皮膚には多様な変化や病変がみられる。それらには、因果関係がある程度明らかなもの、関連の機序が推測されているものもあるが、機序が不明のものも多い。そのような内臓疾患の存在を示す皮膚徴候を、「デルマドローム (dermadrome)」と総称し、そこには「ちょっとビックリ」といったニュアンスが含まれている¹⁾。

1. 網状皮斑 (livedo) を生じる全身疾患

網状皮斑は網目状の紫紅色斑で、主に真皮・脂肪組織境界部の血管障害により生じる。全身性エリテマトーデスや結節性多発動脈炎などの膠原病に伴うことが知られているが、コレステロール結晶塞栓症、クリオグロブリン血症、サルコイドーシス、またまれに褐色細胞腫などでもみられるため、皮膚生検による病理組織学的検討や、基礎疾患の十分な精査が必要である。

2. 内臓悪性腫瘍のデルマドローム

①黒色表皮腫：腋窩、陰股部などの間擦部に好発する、ビロード状のざらざらとした黒褐色斑である。原因の一つに内臓悪性腫瘍、特に胃癌の合併をみることがある。

②Leser-Trélat 徴候：内臓悪性腫瘍に伴い脂漏性角化症が短期間に多発する。個疹は比較的小さく、痒みを生じることが多い。

③紅皮症：全身皮膚に潮紅と鱗屑を生じた状態。一部の症例で、Sézary 症候群などのリンパ球増殖性疾患のほか、肺癌などの固形癌をみることがある。

④Bazex 症候群：主として上気道の扁平上皮癌に合併する乾癬様病変。頸部リンパ節転移が高

率に認められる。

⑤腫瘍随伴性天疱瘡：非Hodgkinリンパ腫、慢性リンパ球性白血病、Castleman病などに伴う自己免疫性水疱症。通常为天疱瘡抗原であるデスマグレインのほか、エンボプラキン、ペリプラキンなどに反応する抗体が検出される。

⑥多中心性細網組織球症：皮膚の小結節と多発性関節炎を主症状とする肉芽腫性疾患。本邦では血液系や消化管などの悪性腫瘍合併が、約2割に報告されている。

3. 糖尿病のデルマドローム

糖尿病と関連した皮膚の徴候には、糖尿病性浮腫性硬化症、汎発性環状肉芽腫、前脛骨部萎縮性色素斑、糖尿病性リポイド類壊死症などがある。

4. 甲状腺疾患のデルマドローム

①前脛骨粘液水腫：Basedow病に伴う限局性粘液水腫。下腿前面に両側性、褐色から暗紅色の硬い局面、結節を生じる。毛孔が陥凹しオレンジ皮様 (*peau d'orange*) 外観を呈する。

②粘液水腫：甲状腺機能低下症に伴う、びまん性の粘液水腫。皮膚は乾燥し、冷たく、顔、手、四肢に指圧痕のない浮腫を生じる。

5. 爪病変にともなう内臓疾患

黄色爪症候群：黄色爪、リンパ浮腫、肺疾患(慢性気管支炎、気管支拡張症など)を三主徴とする。黄色爪は全指趾に生じ、発育遅延、肥厚を伴う。本邦では副鼻腔炎の合併をみることがある。

文献

1) 三橋善比古：皮膚病診療 31：795, 2009

日時：平成 29 年 6 月 11 日(日)
 8：30 インスタート
 場所：湯の浜カントリークラブ

第 15 回 鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペ

さとう整形外科クリニック
 佐藤 慎二

6月11日あいにくの強風の中、催されました鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペで優勝させていただきました。優勝決定方式が恒例でダブルペリア方式でありますので、そこそこで回ればあとは運という方式ですから優勝といってもあまり褒められるものではありません。しかし、まだ4回しか参加したことの無い鶴岡地区医師会



ゴルフコンペなのに、今回で私は優勝3回目だそうです。勝率75%、よほど鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペに愛された男なのでしょうか？別に嬉しくはありません。

今回の私のパーティは、荘内病院耳鼻咽喉科五十嵐敬郎先生、五十嵐先生の奥様、中目医院中目哲平先生でした。五十嵐先生がゴルフをお上手なのは存じ上げておりましたのでベスグロ

のライバルと目しておりました。しかし一番お上手だったのは五十嵐先生の奥様であり、私も五十嵐先生もハンデなしで奥様に敗れ去りました。来年のライバルは五十嵐先生ではなく奥様ということになりました。中目先生とは今回初めてお会いいたしました。科も違いますとなかなか知り合いになるチャンスはないので、今回知り合うことができたのはゴルフコンペ参加の

競技方法：ダブルペリア 打数制限：ダブルパー HDCP上 男：36.0 女：36.0 HDCP下 男：0.0 女：0.0

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	佐藤 慎二	44	46	90	19.2	70.8
準優勝	五十嵐道子	44	44	88	14.4	73.6
3 位	工藤 俊則	45	39	84	9.6	74.4

組み合わせ

1 組	佐藤 満雄	伊藤 末志	中村 誠一	坂田 正昭
2 組	鈴木 伸男	佐藤 正一	工藤 俊則	三原 一郎
3 組	五十嵐敬郎	五十嵐道子	佐藤 慎二	中目 哲平
4 組	齋藤 壽一	菅井 健	田村 優	福原 晶子

メリットでした。

優勝はさておき、心に残ったのはベテランの先生方のご参加でした。鈴木伸男先生は具合が悪ければいつでもホールアウト終了とおっしゃりながら、たんとんとラウンドされ18ホールまでしっかり回りきりました。80歳を超えたら、私も若い人に見守られながらラウンドしたいものだと思います。佐藤満雄先生はまだまだタフで、ただただ楽しく普通にラウンドされておりました。私も70歳代は、普通に楽しそうにラ

ウンドしたいものだと思います。齋藤壽一先生は、1年ぶりのラウンドとお伺いしました。会を盛り上げるため慣れないゴルフにご参加いただき、崖を降りたり登ったりされておりました。私も慣れないことを敬遠することなく愛されるベテランになりたいものだと思います。

ゴルフをなされない先生にご参加はお願いできませんが、ゴルフを少しでもなさる先生は来年以降のご参加をぜひご検討ください。お待ちしております。



准看護学院研修旅行

日時：平成29年5月9日(火)～11日(木)

旅行委員を中心に計画してきた2泊3日の研修旅行。国立療養所多磨全生園、国立ハンセン病資料館を訪れました。一般病院では学ぶことのできない、ハンセン病の歴史的な背景や偏見・差別などを学び、一人一人が人権や尊厳について考える機会となりました。横浜中華街でのランチやホテルビュッフェで英気を養い、クラスの絆を深めることができた3日間でした。

伊藤 亜津佐

事前学習でハンセン病について学び、自分の中での認識は「過去」と感じていた部分が大きかったのですが、実際見学させて頂くと私の認識が大きな間違いであったのだと分かりました。「無知は偏見を生む」、ハンセン病のことを深く知れば知るほど心に響きました。無知は看護実習では禁忌なことだと思います。これからの実習に、正しい知識と理解をもって学んでいくことを繋げていきたいと思いました。

小野寺 歩

ハンセン病資料館で語り部のお話をDVDで視聴し、友人が命を絶ってしまった話や強制収容されて逃げられない環境だったことなどを知り人権のことなど改めて大切だと思いました。また、研修旅行を通して、さらにクラスの仲が深まったと思うので、これからの実習や学校行事にも役立て、チームワークを発揮し助け合っていきたいです。

村井 智子

ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発をする大切さを学びました。間違った知識は時として人権をも侵すものになります。私はそのこ

とを忘れないでいきたいです。ハンセン病の講義の最後に、「ハンセン病患者と一般の患者で同じように看護ができないと思った人はこの道を改めた方が良いでしょう」と言われたことがとても心に残っています。私はもう一度自分の中で看護観を見つめ直し実習に臨みたい、患者さんを看護したいと思いました。

佐藤 亜衣里

クラス全員での旅行は初めてだったので楽しみと不安がたくさんありました。班ごとでの見学・東京散策では班全員で何事もなく行動することができ良かったです。クラスとして時間には遅れないよう10分前行動をとるように皆で呼びかけ行動することができました。初めてのクラス全員での旅行でしたが、クラス全員と一致団結することができたと思います。これから長い実習期間に入りますが、26名全員で頑張りたいと思います。

茂木 浩子

旅行中はエレベーターに乗る時に譲り合ったり、朝食の時に空いている席に呼んだり、集合時間の確認など思いやりや協調性をもったチームワークがとれたと思います。個人的には旅行委員として至らない点も多く、リーダーシップを取るには白黒はっきりさせる決断力、意見をしっかりと聞いてきちんと対応すること、堂々とした態度が必要なことが分かりました。今回はクラス全員の協力ですべてとても良い旅行になりました。この思い出を胸に3月まで残り10カ月頑張りたいと思います。



YBCラジオ番組 「ドクターアドバイスできょうも元気」

【放送時間：月曜日～金曜日 朝 6時30分～6時45分 お昼12時40分～12時55分】

放送日程	出演者	放送日程	出演者
8月7日～11日	山形県立こころの医療センター 須貝 孝一 先生	8月28日 ～9月1日	鶴岡地区医師会 北楯 優隆 先生
8月14日～18日	鶴岡市立荘内病院 和泉 典子 先生	9月4日～8日	中目内科胃腸科医院 中目 哲平 先生
8月21日～25日	庄南クリニック 長畑 守雄 先生	9月11日～15日	池田内科医院 渡邊 秀平 先生



表 紙

「くろねこ」

佐藤 元昭

今年生まれた3匹の内の一匹で黒と白の目つきが一番かわいい猫です。
今は親と仔猫3匹と一緒に生活している毎日です。

編 集 後 記

日本の梅雨といえば、どんよりした空からのシトシトとした農作物にとっては恵みの雨、アジサイがきれいに咲き、明けてジリジリと照りつける太陽が待ち遠しい季節、というイメージですが、今月初旬の九州から山陰にかけての集中豪雨は、多くの方のお命を奪いながら、多大な被害を及ぼしています。ご冥福をお祈りするとともに、早期に通常の生活に戻られることを願っています。それにしても、鶴岡は、天災が少なく、本当に良いところだと思つづく思いました。

今月号のトップには、第102回定時総会議事録が掲載されております。一般社団法人へ移行してから、総会の形式が、法律に則った形に変わったことで、説明様式が変化してきています。今年からは特に、短時間で会員の方にわかりやすい説明を行うことを目標に、事業の担当理事による説明は、数字の羅列は行わず、事業内容を2～3分にまとめ、本当にお伝えしたいことを説明することに致しました。会員の出席総数はなかなか増えませんが、是非、総会にご出席頂き、医師会の現状と今後の課題など、お聞きいただきたいと存じます。

医師会勉強会は、獨協医科大学皮膚科の濱崎先生による、デルマドルームのお話でした。講演会が3つ重なってしまい残念でしたが、たくさんの方に聞いていただきたい内容でした。内臓疾患に伴う皮膚徴候を病理の所見とともに、たくさんスライドで供覧され、日常の診療でもお役に立つのではないかと思われる、とても興味深い講演でした。

8月から、YBCラジオの「ドクターアドバイスできょうも元気」に、鶴岡地区医師会の6人の先生方が登場されます。朝のまだ涼しいうちに、また、お昼の再放送もありますので、是非お聞き下さいますよう、お願い致します（意外とたくさんの方が聞いて下さっているようですよ）。

(福原 晶子)

編集委員：三浦道治・小野俊孝・福原晶子・三科 武・佐久間正幸・木根淵智子・渡邊秀平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>